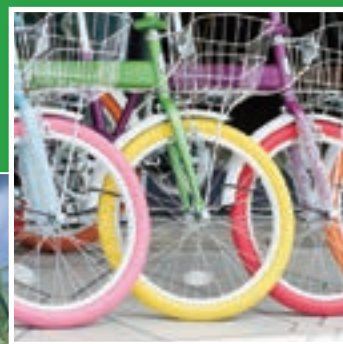




第37期 中間報告書

平成24年2月21日 ▶ 平成24年8月20日



暮らしにもっと、楽しさをもっと



株式会社 **ダイユーエイト**

証券コード：2662

経営理念

地域社会への貢献

地域社会から支持され、信頼されることが私達の存在意義です。

感謝の精神

すべてが感謝に始まり、感謝に返る、誠実な態度を、私達は大切にします。

お客様第一主義

お客様の喜び、満足を実現することが、私達の生き甲斐です。

基本精神

お客様の店舗、
お客様あつての私達。
“お客様第一主義”を日々
態度と行動で実践します。



代表取締役社長

浅倉 俊一

株主の皆様へ

株主の皆様の平素のご支援に対し、厚く御礼申し上げます。
第37期中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当中間期におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興関連需要等により一部で景気持ち直しの動きが見られたものの、一方で、欧州債務危機問題に起因する海外経済の減速等によりアジア向け・新興国向け等の輸出が低迷し、国内生産活動も落ち込んでいる中で、歴史的な円高水準の長期化も相まって国内景気は足踏み状態に入り、先行き不透明な状況に陥っています。また、企業も収益確保に厳しさを強いられており、雇用情勢は依然厳しく、個人消費は、生活防衛意識の一層の高まりやデフレ傾向の長期化により、低価格志向の節約消費が続いている状況にあります。

このような状況のもと、財務基盤安定化を図る目的で4月に公募及び第三者割当による新株式を発行し、資本増強を行いました。また、復旧・復興需要

に対して供給責任を果たすべくホームセンター4店舗をリニューアルした一方、ペット専門店「ペットワールドアミーゴ」2店舗、自転車専門店「One's cycle」3店舗を新規出店いたしました。

下期におきましては、当期のスローガンである「お客様にさらに支持される企業」を目指して、お客様視点での店舗や商品管理、サービスの提供を実践すると共に、商品力の強化、ローコスト・オペレーションのための物流の再構築に取り組んで参ります。

なお、当中間期の配当金は、中間期の業績結果及び今後の見通しを鑑み、当初予定通り1株当たり10円とさせていただきます。株主の皆様におかれましては、何卒ご支援賜りますようお願い申し上げます。



Q 当中間期の状況と、下期の見通しについて教えてください。

A 当社グループが地盤とする福島県下では、復興需要が底堅く推移するものの、個人消費は生活防衛意識の高まりやデフレ傾向の長期化により、低価格志向の節約消費が継続しております。

このような状況のもと、新規出店として、3月にペット専門店「ペットワールドアミーゴ須賀川店」(福島県)を、6月には「ペットワールドアミーゴ多賀城店」(宮城県)を開設する一方、自転車専門店である「One's cycle草加店」及び「One's cycle八潮店」の2店を4月に、続いて6月に「One's cycle川口店」を開設し、当社グループとして初めて埼玉県に進出いたしました。この結果、中間期末の店舗数は、80店舗となりました。

主力であるホームセンター事業は、営業休止店舗を除く既存店ベースで、客単価が前年同水準でしたが、客数が前年同期比1.2%減少した結果、既存店売上高は同1.2%減少しました。

ホームセンター事業の既存店ベースでの商品別販売動向につきましては、春先は低温のため灯油の販売高が大きく伸びましたが、利益率としては押下げ要因でありました。また、昨年売上を大きく伸ばした木材・金物・作業用品等や日用品・家庭用品・収納用品・インテリア・家電製

品等の生活必需品は、家屋等の復旧・修繕や避難のための転居や仮設住宅入居等に伴う需要がほぼ一巡し、売上高は前年対比で減少しました。一方、東京電力福島第一原子力発電所事故による放射能災害の発生以降販売不振であった園芸用品や植物が、今年に入り除草剤・園芸用土・花苗・鉢花といった商品を中心に売れ行きを回復し、また転居に伴う復興需要が続いていることから、物置等エクステリア関連商品の販売が順調でした。梅雨明け後は高温少雨の天候が続いたため、よしず・すだれ・網戸・ミネラルウォーター等の避暑対策商品の売上が好調でした。さらに、昨年震災の影響で売れ行きが低調だった切り花・ビール・ギフト等の季節商品が伸びました。

セグメント利益につきましては、前年東日本大震災により自粛した広告宣伝費が平常ベースに戻り(前年同期比15.4%増)、また節電対策及び長期的なコスト削減を図る目的でホームセンター計25店舗の照明を発光ダイオード(LED照明)に切り替え、2億2千5百万円全額費用計上しました。これらの要因によりセグメント利益(営業利益)が大きく減少しました。

これらの結果、ホームセンター事業における売上高は163億9千1百万円(前年同期比2.5%減)、セグメント利益(営業利益)は10億3千1百万円(同37.3%減)となりました。

下期においても、日本経済の低迷を背景に個人消費は弱含みでの推移が予想され、引き続き厳しい経営環境が

予想されます。下期対策としましてポイントカード会員獲得キャンペーン等、効果的な販売促進策により売上拡大を図ると共に、人員配置の適正化によるコスト削減を進めて参ります。

通期の業績といたしましては、連結売上高374億円、連結営業利益14億3千万円、連結経常利益13億7千万円、連結当期純利益は7億5千万円を見込んでおります。

Q 今後の出店戦略について教えてください。

A 中長期的な出店戦略は、中核となるホームセンター事業は、福島県を中心に東北から北関東におけるドミナント化をさらに推進し、今後は、地方における人口減少問題に対処するため、人口密度の高い東北及び北関東の都市部を中心に中・大型店の開発を進めて参ります。

また、多様化する顧客ニーズに的確に応えるため、ホームセンター業態から派生してペット専門店、自転車専門店、ホームファッション専門店等の専門店業態店舗の出店を関東以北で加速して参ります。

下期の出店戦略は、ホームセンター2店舗(秋田県、宮城県)、ペットワールドアミーゴ3店舗(茨城県、山形県、千葉県)及びワンズサイクル1店舗(山形県)を計画しております。

Q 最後に株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A 当社グループは、株主の皆様に対する利益還元について、将来の事業展開の為に財務体質の充実を勘案しながら、安定した配当政策を継続的に行っていくことを基本方針としております。当中間期末配当につきましては、通期の業績見通しを踏まえ、当初の予定通り1株当たり10円(前中間期末実績 9円)とさせていただきます。

また、当社では株主の皆様へ感謝の意を表する意味で、毎年2月20日現在の株主の皆様を対象に、株主ご優待として福島県、山形県、茨城県内在住の方には自社商品券を、それ以外の地域に在住の方には所有株式数に応じて「JCBギフト券」を贈呈させていただいております。

株主の皆様には、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第37期の見通し

連 結		
科 目	当第2四半期(実績) 平成24年2月21日~平成24年8月20日	通期(予想) 平成24年2月21日~平成25年2月20日
売上高 (百万円)	19,570	37,400
営業利益 (百万円)	689	1,430
経常利益 (百万円)	675	1,370
当期純利益(百万円)	430	750
1株当たり配当金(円)	10	20



福島黒岩店 緑のカーテン



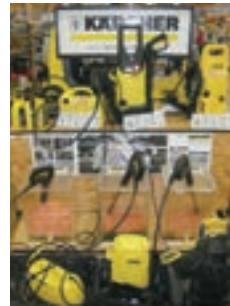
ホームセンター4店舗リニューアルオープン

3月に須賀川東店、4月に福島八島田店、5月に原町店、6月に福島黒岩店をリニューアルオープンいたしました。

除染関連商品、復旧復興関連商品を今まで以上に拡大し、今期の経営方針である「復旧・復興需要に対し供給責任を果たす」を具現化いたしました。



福島八島田店 資材復興商品



除染関連商品



ペットワールドアミーゴ2店舗オープン



ペットワールドアミーゴ 須賀川店

3月16日にペットワールドアミーゴ須賀川店、6月29日にペットワールドアミーゴ多賀城店をオープンいたしました。ペットワールドアミーゴ多賀城店オープンによりペット専門店は8店舗となっております。

今後も、北関東、東北を出店エリアと位置づけ、出店を加速して参ります。



ペットワールドアミーゴ 多賀城店



One's cycle 3店舗オープン



4月26日にOne's cycle草加店、One's cycle八潮店を同時オープンし、6月28日にOne's cycle川口店をオープンいたしました。

当社グループとして初めて埼玉県に進出いたしました。



One's cycle 八潮店

One's cycle 川口店



福島県警察本部と災害物資調達協定



福島県警察本部からの要請を受け、5月21日に「災害等における物資の調達に関する協定」の締結式を福島県庁で行いました。

福島県警が民間企業と協定を結ぶのは、当社が第1号でありました。



○ 中間連結貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間連結会計期間末 (平成24年8月20日現在)	前連結会計年度末 (平成24年2月20日現在)
資産の部		
流動資産	10,011	8,752
現金及び預金	2,765	1,455
売掛金	289	226
たな卸資産	6,494	6,145
その他	460	925
固定資産	15,460	15,403
有形固定資産	10,529	10,635
建物及び構築物(純額)	7,838	7,931
土地	2,038	2,038
リース資産(純額)	484	501
その他(純額)	167	163
無形固定資産	1,280	1,326
のれん	112	147
その他	1,168	1,178
投資その他の資産	3,649	3,441
敷金及び保証金	2,323	2,158
その他	1,345	1,302
貸倒引当金	△ 18	△ 18
資産合計	25,471	24,155

記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

ポイント 1

資産の部：当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ13億1千5百万円増加し、254億7千1百万円となりました。この主な要因は、新株式の発行等による株主資本の増加等に伴う現金及び預金の増加等であります。

(単位:百万円)

科目	当中間連結会計期間末 (平成24年8月20日現在)	前連結会計年度末 (平成24年2月20日現在)
負債の部		
流動負債	12,807	12,482
支払手形及び買掛金	6,041	5,785
短期借入金	2,497	1,835
1年内返済予定の長期借入金	2,186	2,164
1年内返済予定の社債	110	110
1年内リース債務	191	178
未払法人税等	267	524
その他	1,513	1,885
固定負債	7,940	8,118
社債	270	325
長期借入金	5,277	5,360
リース債務	388	429
長期預り敷金保証金	1,198	1,215
退職給付引当金	204	193
役員退職慰労引当金	289	282
資産除去債務	133	129
その他	178	182
負債合計	20,747	20,600
純資産の部		
株主資本	4,707	3,531
資本金	1,303	894
資本剰余金	1,224	816
利益剰余金	2,180	1,820
自己株式	△ 0	△ 0
その他の包括利益累計額	9	17
その他有価証券評価差額金	12	17
繰延ヘッジ損益	△ 2	△ 0
少数株主持分	6	5
純資産合計	4,723	3,554
負債純資産合計	25,471	24,155

ポイント 2

負債・純資産の部：当中間連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1億4千6百万円増加し、207億4千7百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の増加、短期借入金の増加等であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ11億6千9百万円増加し、47億2千3百万円となりました。この主な要因は、平成24年4月26日を払込期日とする公募による新株式発行及び平成24年5月16日を払込期日とする第三者割当による新株式発行による資本金及び資本準備金の増加、ならびに利益剰余金の増加であります。

○ 中間連結損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間連結会計期間 自平成24年2月21日 至平成24年8月20日	前中間連結会計期間 自平成23年2月21日 至平成23年8月20日
売上高	19,570	19,377
売上原価	13,971	13,750
売上総利益	5,598	5,627
販売費及び一般管理費	4,909	4,284
営業利益	689	1,342
営業外収益	104	119
営業外費用	118	116
経常利益	675	1,345
特別利益	64	-
特別損失	4	664
税金等調整前中間純利益	735	681
法人税、住民税及び事業税	250	389
法人税等調整額	53	△ 81
少数株主損益調整前中間純利益	430	373
少数株主利益	0	2
中間純利益	430	371

ポイント 3

記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

○ 中間連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

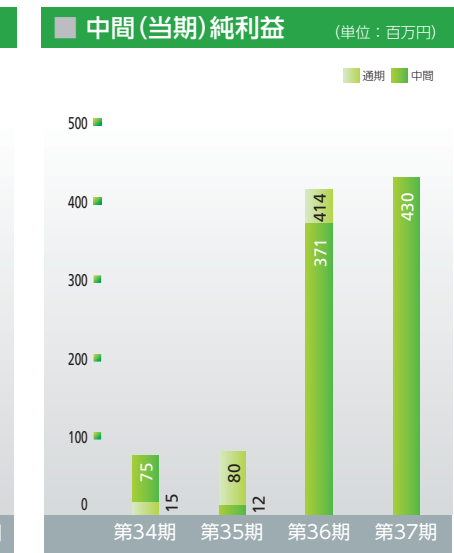
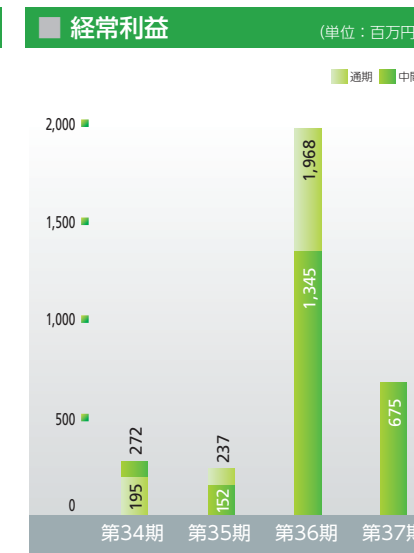
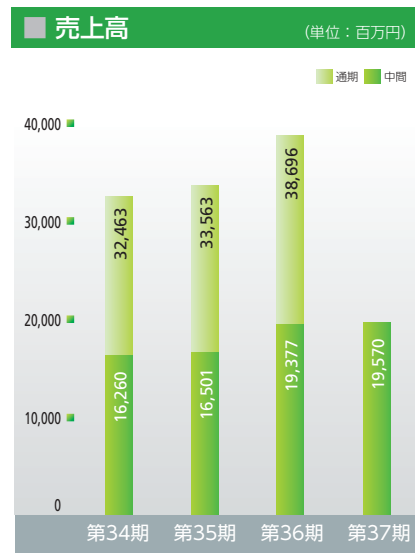
(単位:百万円)

科目	当中間連結会計期間 自平成24年2月21日 至平成24年8月20日	前中間連結会計期間 自平成23年2月21日 至平成23年8月20日
営業活動によるキャッシュ・フロー	757	2,631
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 655	△ 160
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,202	△ 1,338
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,303	1,132
現金及び現金同等物の期首残高	1,238	1,177
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,542	2,309

記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

ポイント 4

中間純利益：売上高は、東日本大震災の応急的な復旧商品需要がほぼ一巡しましたが、昨年放射能災害の影響により販売不振であった園芸用品や植物が売れ行きを回復し、また、梅雨明け後の高温少雨の天候により避暑対策商品の売上が好調に推移し、195億7千万円となりました。経費面では、前年東日本大震災により自粛した広告宣伝費が平常ベースに戻ったこと、節電対策及び長期的なコスト削減につなげる目的でホームセンター計25店舗の照明をLEDに切り替えたこと、さらに新規出店に備えての人員増加等の要因により、営業利益が6億8千9百万円、経常利益が6億7千5百万円となりました。中間純利益は、福島第一原子力発電所事故により営業を休止している店舗の営業損害金収入等により4億3千万円となりました。





■ 店舗形態

● ホームセンターダイユーエイト

暮らしと住まいとDIY。地域に密着した豊富な品揃えとお買得価格で、お客様の快適な暮らしを応援しております。



● オフィスエイト

「オフィスの経費節約」をテーマに、一般文具から事務用品、オフィス家具までオフィス需要のすべてに、お応えしております。



● ダイユーエイトホームサービス

住まいの補修・改装工事の全般とエクステリア用品の販売や太陽光パネルの販売・取付施工を行っております。

● ダイユーエイトMAX

「住まいと暮らしのカテゴリーカラーの商業集積」というコンセプトのもと、様々なテナントと共に、福島市の中心市街地活性化と新生活創造拠点としてにぎわいを創出しております。



● One's MAX

インテリア、収納用品、化粧品、雑貨、文具、家庭用品、キッチン用品、季節用品を豊富に取り揃え、今までにない生活提案型の商品を販売しております。



● スーパーマーケット鮮一

新鮮な肉、魚、野菜の生鮮三品を中心に、お買得価格で、毎日の食卓を応援しております。



● ペットワールドアミーゴ

ペット及びペット関連商品を豊富に取り揃え、また、トリミング、ペットホテル等のサービスの充実した店舗で、ペット愛好家の皆様のニーズにお応えしております。



● ガーデンセンター

自社栽培のハーブ苗、四季折々の鉢花、花苗、花木を豊富に揃え、ガーデングッズや庭の手入れ用品、室内飾り等を多数販売しております。



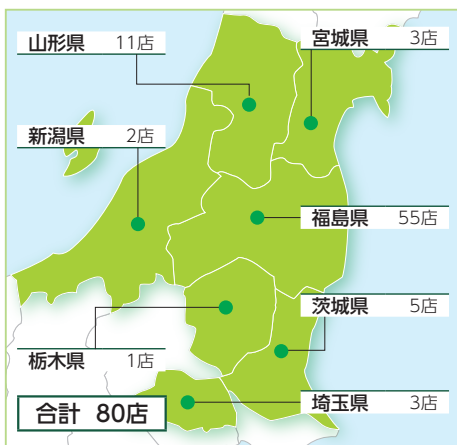
● ワンズサイクル

普段使う自転車、毎日使う自転車を豊富な品揃えの中から自分に最適な自転車を選べ、説明と修理、アフターメンテナンス等をプロが行うコンセプトに国内主要メーカーの軽快車をはじめ、海外メーカーのマウンテンバイクやクロスバイクといった専門的な自転車を多数揃えております。

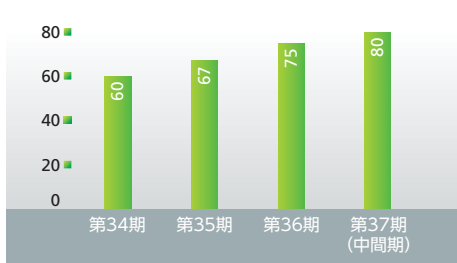


■ 店舗展開

● 店舗分布



● 総店舗数の推移



店舗一覧

(平成24年9月30日現在)

〈ホームセンター〉

- 福島県 福島黒岩店 福島八島田店 福島鎌田店 福島上名倉店 福島飯坂店 福島蓬萊店 桑折店 保原店 梁川店 川俣店 二本松店 本宮店 郡山安積店 矢吹店 須賀川西店 須賀川北店 須賀川東店 浅川店 石川店 棚倉店 船引店 三春街道店 小野店 相馬店 鹿島店 小高店 原町店 富岡店 いわき城東店 いわき好鶴店 四倉店 いわき内郷店 いわき鹿島店 いわき大原店 会津若松店 西若松店 会津坂下店 塩川店 猪苗代店
- 宮城県 大河原店 白石店
- 山形県 南陽店 高島店 村山店 河北店 酒田店 山形花橋店 庄内余目店 山形鶴店 新庄店 米沢店 尾花沢店
- 新潟県 新潟中央店
- 栃木県 那須塩原店
- 茨城県 茨城下妻店 茨城水戸店 茨城千代田店 茨城下館店
- 〈オフィスエイト〉
- 福島県 南福島店 富久山店 福島鎌田店

〈ペットワールドアミーゴ〉

- 福島県 福島西店 福島南店 会津若松店 いわき店 郡山図景店 須賀川店
- 宮城県 多賀城店
- 新潟県 新潟小新店
- 〈ダイユーエイトMAX(複合商業施設)〉
- 福島県 MAX福島店
- 〈ワンズサイクル〉
- 福島県 南福島店 MAX福島店 会津若松店 いわき店 郡山昭和店
- 茨城県 ひたちなか店
- 埼玉県 草加店 八潮店 川口店
- 〈One's MAX〉
- 福島県 MAX福島店 アティ郡山店
- 〈ガーデンセンター〉
- 福島県 三春ハーブ花ガーデン



■ 株式の状況 (平成24年8月20日現在)

1 株式数

- (1) 発行可能株式総数 15,000,000 株
- (2) 発行済株式の総数 7,734,000 株

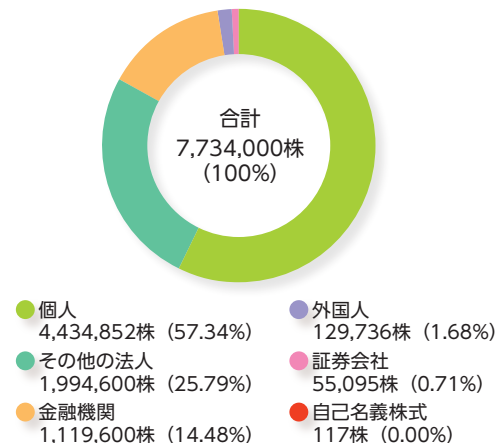
2 株主総数

4,101 名

3 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
浅倉 俊一	734,900株	9.50%
有限会社アスクラ・HD(旧 有限会社ティエーエシ)	700,000	9.05
ダイユーエイト共栄会	476,300	6.15
ダイユーエイト社員持株会	349,500	4.51
株式会社東邦銀行	300,000	3.87
株式会社リックコーポレーション	200,000	2.58
佐藤 友美	158,140	2.04
浅倉 俊之	140,420	1.81
浅倉 トヨ	120,000	1.55
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	111,300	1.43

4 所有者別分布状況



■ 会社の概要 (平成24年8月20日現在)

- 1 商号：株式会社 ダイユーエイト
- 2 設立：昭和51年4月
- 3 資本金：1,303百万円
- 4 従業員数：(連結) 正社員 435名
パートタイマー 870名(1日8時間換算)
(単体) 正社員 427名
パートタイマー 864名(1日8時間換算)
- 5 本社：福島県福島市太平寺字堰ノ上58番地
- 6 事業内容：流通小売業
〔ホームセンター、文具・事務用品専門店、リフォーム専門店、ペット専門店、複合商業施設、自転車専門店、ホームファッション専門店の経営〕
- 7 上場取引所：東京証券取引所市場第一部
- 8 連結子会社：株式会社ダイユーエイト・ホームサービス
株式会社イトファーム
株式会社アレンザ・ジャパン



■ 役員 (平成24年8月20日現在)

- | | |
|--------------------|-------|
| 代表取締役社長 | 浅倉 俊一 |
| 取締役副社長 | 阿部 和博 |
| 専務取締役(業務推進室長) | 三瓶 善明 |
| 常務取締役(店舗開発部長) | 熊田 康夫 |
| 常務取締役(ホームセンター統括部長) | 柳 沼忠広 |
| 常務取締役(管理統括部長兼財務部長) | 石黒 隆 |
| 取締役(商品開発部長) | 佐藤 芳則 |
| 取締役 | 川西 良治 |
| 常勤監査役 | 四家 英忠 |
| 監査役 | 宗形 守敏 |
| 監査役 | 寺島 由浩 |

株主メモ

事業年度	毎年2月21日から翌年2月20日まで
定時株主総会	5月
1単元の株式数	100株
配当金受領株主確定日	期末配当 2月20日 中間配当 8月20日
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付／ 電話お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-288-324（フリーダイヤル）
公告方法	電子公告とする。ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

【株式事務に関するご案内】

● 証券会社でお取引をされている株主様

お手続き お問い合わせ先	お取引のある証券会社
お手続き内容	住所変更、単元未満株式の買取請求、 配当金受取り方法のご指定、相続に伴うお手続き等

● 特別口座に記録されている株主様

特別口座管理機関	東京証券代行株式会社
お手続き お問い合わせ先	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター <株式に関するお問い合わせ> TEL.0120-49-7009（フリーダイヤル）
お取扱店	東京証券代行株式会社 本店 三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
お手続き内容	住所変更、単元未満株式の買取請求、 配当金受取り方法のご指定、相続に伴うお手続き等
特別口座での 留意事項	特別口座では、株式の売却はできません。売却するには、証券会社にお取引の口座を開設し株式の振替を行う必要がございます。

※未払配当金の支払い、支払明細等の発行に関する手続きは当社株主名簿管理人（みずほ信託銀行）が承ります。

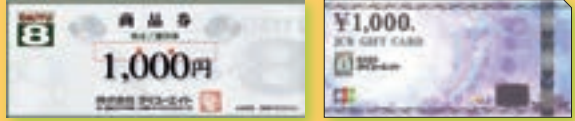
お手続き お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-288-324（フリーダイヤル）
お取扱店	みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 みずほインバスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店

※未払配当金につきましては、上記お取扱店のほか、株式会社みずほ銀行の本店及び全国各支店でもお取扱いいたします。

○ 株主優待制度のご案内

当社では、株主の皆様へ感謝の意を表す意味で、毎年2月20日現在の株主の皆様を対象に以下の基準により贈呈しております。

福島県、山形県、茨城県にお住まいの株主の皆様	
所有株式数	自社商品券
100株以上	1,000円（1枚1,000円の自社商品券 1枚）
500株以上	3,000円（1枚1,000円の自社商品券 3枚）
1,000株以上	5,000円（1枚1,000円の自社商品券 5枚）
3,000株以上	10,000円（1枚1,000円の自社商品券10枚）



福島県、山形県、茨城県以外にお住まいの株主の皆様	
所有株式数	JCBギフト券
100株以上	1,000円
500株以上	2,000円
1,000株以上	3,000円
3,000株以上	5,000円

株式会社 ダイユーエイト

〒960—8151福島県福島市太平寺塚ノ上58番地
TEL : 024—545—2215
FAX : 024—545—2495
http://www.daiyu8.co.jp



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

